あさがお通信

6号
平成26年
12月1日
発行

医療法人社団 中川会 呉中通病院・グリーン三条 広報誌

呉中通病院 理念

私たちは地域社会から信頼される開かれた病院として
思いやりを大切に、誠実な医療を目指します。
http://www.kure-nakadori.jp/

呉中通病院

二次予防のための退院後の試み

呉中通病院 院長　岡崎　慎哉

現在、高齢化に伴い患者・利用者さまが増え続ける2025年に向けて、限られた医療・介護資源を地域単位で連携させて乗り切るため「地域包括ケアシステム」の構築に向けて体制の整備が進んでおります。

「地域包括ケアシステム」の構築のため、回復期リハビリテーション（脳血管疾患及び運動器疾患）を中心とした医療を提供している当院の立場から、地域医療に貢献ができるものはないか検討を重ねてまいりました。

急性期治療あるいは回復期のリハビリテーションを終えた患者さまは、その後も依然として再発リスクを抱え多くの不安もあると思います。

そこで、専門医として脳卒中等の二次予防に対して取り組むことで、高齢の方が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるために役立つのではないかと考え、入院患者さまの退院後のフォローの取り組みを開始することにいたしました。

当院では、地域のかかりつけの先生方に退院後の患者さまの全身の健康管理をお願いすることが多いのですが、その後の定期的な画像診断（MRI撮影、CT撮影、骨塩定量等）を中心としたフォローを行う試みとなります。

この試みは、もちろん患者さまの事情や病状により成果は左右されますが、微力ながら地域医療への貢献が可能ではないかと思っております。

何卒関係各位におかれましてはご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

呉中通病院

在宅復帰に向けての取り組み

当院には、疾患や受傷による障害が残存し、日常生活動作能力や歩行能力の低下されている患者さまが入院されています。

その方々が安心してリハビリテーション（以下リハビリ）を行い、退院することができるように、定期的なリハビリカンファレンスや家族カンファレンスといった話し合いを通じて、患者さま、ご家族、病院スタッフが同じ方針になるようにコミュニケーションをとっています。自宅退院予定であり、必要であると判断された患者さまには、退院前に自宅訪問を行い、日常生活動作の確認、住宅改修のアドバイス、福祉用具購入やレンタルの提案を行っています。

住宅改修のアドバイスを行うにあたり、「住宅環境調査票」をお渡しして、家屋構造（段差の高さ、浴室・トイレの構造等）の確認をさせていただき、それを基に環境調整や動作方法について、担当リハビリスタッフで話し合っています。

住宅改修に先立ち患者さまの自宅に訪問する際は、ほとんどの場合、ケアマネジャー、住宅改修業者、社会福祉士、担当リハビリスタッフが参加し、相談しながら環境調整を行います。

日本家屋の特徴である段差の多い構造は、リハビリにより日常生活動作がスムーズに行えるようになった患者さまであっても、玄関の上がり框（かまち）、トイレ、浴室に手すり設置や段差解消を行う場合がほとんどです。

また、手すりが取り付けられないことも多く、その場合には、実際に患者さまに動いてもらいながら、患者さまの家屋に合った動きを提案させていただいています。

今後も、患者さまやご家族の方が安心して、退院後の生活を送っていただくためにしっかりとコミュニケーションをとり、環境調整を進めていこうと思います。

呉中通病院
リハビリテーションセンター 副センター長
理学療法士　栗原　賢

入浴動作の確認

自宅での患者さまを中心とした話し合い

玄関の段差確認

呉中通病院　「地域連携室室長就任１周年を振り返って」

平成25年度を振り返りますと、総入院数約611名、当院全体での在宅復帰率71%、回復期リハビリテーション病棟での在宅復帰率68%とまずまずの実績を残すことができました。今年度に入ってもほぼ同様の結果となっております。これもひとえに日頃の多くの皆さまのご協力の賜物と感謝いたしております。

今後、老老介護、高齢者単身世帯の増加に伴い在宅困難な患者さまが増えてゆくことが予想されますが、厚生労働省の指針としては在宅への移行が重視されております。地域連携室ではそのような状況に対応するために、いくつかの方策をご提示して一緒に考えてまいります。

当院の地域連携室は本年４月に社会福祉士の野上友香が加わり総勢５名で活動しております。今後も回復期リハビリテーション病院として地域医療に貢献することを目指して努力してまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

（左上から）
松岡副室長（看護師長）、武田主任ＭＳＷ
野上ＭＳＷ、山田副院長、髙尾ＭＳＷ

呉中通病院
地域連携室
室長　　山田　淳夫

呉中通病院　地域連携室副室長就任のご挨拶

この度10月１日付で地域連携室副室長となりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

また、日頃より呉中通病院の地域連携室活動にご協力頂き誠に有難うございます。この場をかりてお礼申し上げます。

平成25年度の総入院患者数は611名で、そのうち急性期病院からの紹介率は77%を超えており、回復期リハビリ病院としての役割の重要性を痛感しているところです。

また、当院でリハビリをされ退院される患者さまは、地域の先生方に今後のフォローをお願いすることも多く大変お世話になっております。

今回、地域連携室副室長という大役を頂き身が引き締まる思いと同時に、今後も顔の見える地域連携室をめざし地域の皆さまとの連携を大切にし、より一層充実していきたいと思う所存です。今後とも変わらぬご支援とご意見・ご要望をお願いいたします。

呉中通病院
地域連携室
副室長　松岡　律子

グリーン三条　手打ちうどん実演見学と体験

9月18日（木）2階食堂兼談話室において、敬老の日のイベントとして、うどん打ちの実演を行いました。胃瘻の方も含め、27名の利用者さまがうどん打ちを見学されました。

塩水と小麦粉からうどんになるまでの各過程を利用者さまの手元に運ぶことで、身近に感じながら見学することができました。参加者のほぼ全員にうどん踏みを体験して頂き、それぞれのADLに合わせた介助をすることで、うどんの感触を確かめながらしっかり踏むことができました。うどん踏みができなかった利用者さまには、ご自分の手で触ることでうどんの感触を確かめていただきました。皆さま少し昔を思い出しながら、熱心に、そして笑顔でうどんが出来上がるまでを見学されました。

もちろん、昼食はコシのある手打ちうどんを提供、見学・体験後ということもあり、喜んで召し上がられました。

介護老人保健施設　グリーン三条
管理栄養士　中井　美紀

呉中通病院　地域の方々の要介護・寝たきりの予防のために

＜当院の高精度な骨密度測定装置をお気軽にご活用下さい＞

「心筋梗塞」「脳卒中」に比べ、「骨折」というと生命に直結した印象はうすく、まして「骨粗鬆症」となると老化だから仕方ない程度に軽く受け止められがちです。

しかし、骨粗鬆症による骨折は、「要介護」に至る原因として（高齢による衰弱を除けば）脳血管疾患、認知症に次いで、３番に多い疾患です。「健康寿命」を短くし、患者さまの生きる喜びを低下させ、介護者・地域の肉体的・経済的負担を増大させるため、呉地域をはじめとする高齢化社会の大きな問題となっています。

骨粗鬆症は「沈黙の疾患」です。密かに骨脆弱化が進行し、骨折を起こして初めて症状が出てくる疾患です。高血圧・高脂血症も密かに進行し放置すれば致命的な症状が出るところは似ていますが、血圧測定や血液検査などで簡便に診断・治療効果判定ができ、治療の開始・継続がしやすい疾患です。それに対し、骨粗鬆症は簡便な検査が行いにくいため、治療率･治療継続率とも低い状態に留まっています。

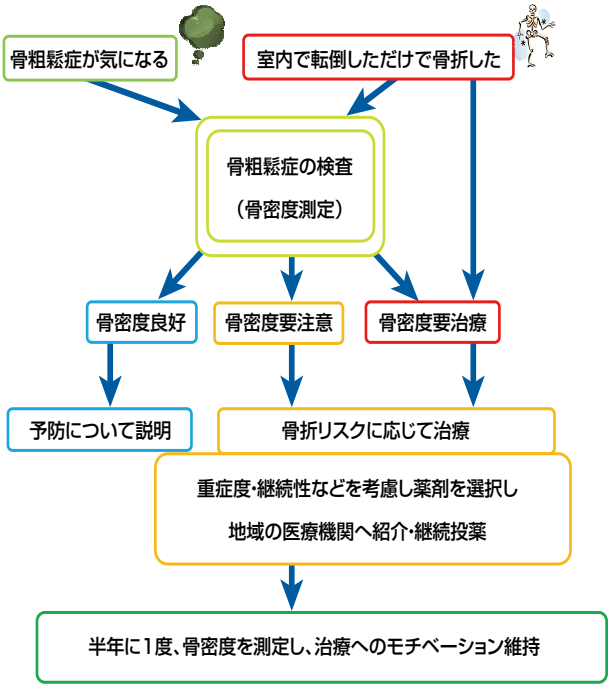
骨粗鬆症の検査は、診断基準においては骨密度値が大きな役割を占めています。骨密度は踵骨や橈骨でも検査可能ですが、最新の診断基準では腰椎・大腿骨近位部での骨密度測定が推奨されています。当院ではホロジック社の「Discovery Ｃｉ」を導入し、精度の高いDXAで、腰椎・大腿骨近位部で骨密度を測定しています。

骨折・寝たきり予防が気がかりの際には、一度お気軽に当院整形外科へご相談下さい。検査の結果、治療が必要な場合には投薬（内服薬･皮下注射など）が開始となります。その後は治療の継続が大事になりますが、半年に１回程度骨密度などの評価を続けることにより、患者さまも治療の実感が得られモチベーションを持って服薬・治療に臨み、継続しやすくなります。

また、地域のかかりつけの先生方よりご紹介頂いた際には、当院で検査結果をもとに患者さまの生活背景に応じて治療継続のしやすい薬剤を選択し、処方を含め情報提供させてもらい、当院へは半年に１回検査に来院してもらい経過を確認するといった方法も可能です。

今後呉地域では更に高齢化が進んできますが、地域のかかりつけの先生とも連携しながら、介護を受けずに生活できる「健康寿命」を延ばしていきましょう。

呉中通病院
副院長　中川　豪



編集後記

6月25日に医療介護総合確保推進法が公布され、10月1日には病床機能報告制度がスタートしました。2015年度には県から地域医療構想（ビジョン）が示され2025年に向けて地域の中でどのような医療・介護の機能を担っていくか、またどのような連携体制を構築するのか迫られています。

今後も地域社会の皆さまから信頼される、質の高い医療・介護サービスを目指しますのでよろしくお願いいたします。

（森光）

医療法人社団 中川会
呉 中 通 病 院
〒737-0046 呉市中通1丁目3番8号
〔JR呉駅より徒歩5分〕
TEL(0823)22-2510
FAX(0823)22-2514
http://www.kure-nakadori.jp/
介護老人保健施設 グリーン三条
〒737-0821 呉市三条1丁目3番14号
〔JR呉駅より徒歩7分〕
TEL(0823)23-0303
FAX(0823)23-0642

2014.12.1000